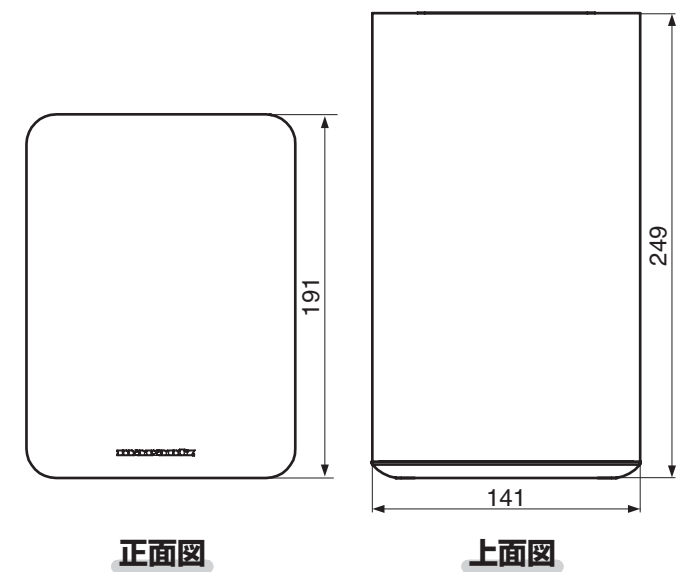
サランネットのはずしかた

本機前面にあるサランネットを本機から取り外すことができます。

- 取り外すときはサランネットの上面の両側を持って手前に引いてください。
- 取付けるときはサランネットの突起部とキャビネットの穴部を合わせて押し込んでください。

仕様・外形寸法図

型式..........................2ウェイ 2スピーカー バスレフ型、防磁設計
再生周波数帯域.. 45Hz - 40kHz
出力音圧レベル...86dB(1W・1m)
公称インピーダンス...6Ω
最大入力...60W(JEITA)、120W(PEAK)
クロスオーバー周波数...3kHz
ドライブユニット
....12cm コーン·ウーファー×1
....................................2.5cm ソフトドーム·トゥイーター×1
大きさ.............................H 191mm × W 141mm × D 249mm
質量.. 3.4 kg

❑外観寸法図(単位：mm)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮(思いやり)を十分にいたしましょう。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。

アフターサービス

この商品には、保証書を別途添付してあります。
保証書は販売店でお渡ししますから、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、たいせつに保存してください。
保証期間はお買上げの日から 1 年間です。
保証書の記載内容によりお買上げ販売店にて修理いたします。
その他詳細は保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有償修理いたします。
なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げ販売店か最寄りの弊社営業所へお問合わせください。

株式会社マランツコンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。
http://www.marantz.jp

Printed in China　5411 10603 005M

marantz®

LS603 Speaker System 取扱説明書

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例	図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
感電注意	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
分解禁止	⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
電源プラグをコンセントから抜く	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

水ぬれ禁止

水滴や水しぶきのかかるところに置かない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災、感電の原因水ぬれになります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造をしたりしない

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
分解禁止内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

水ぬれ禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。

必ず実施

電源を入れる前には、音量を最小にする
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

次のような場所には置かない
火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

重いものをのせない
機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

移動させるときは
まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

注意

5 年に一度は内部の掃除を
販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

付属品の確認

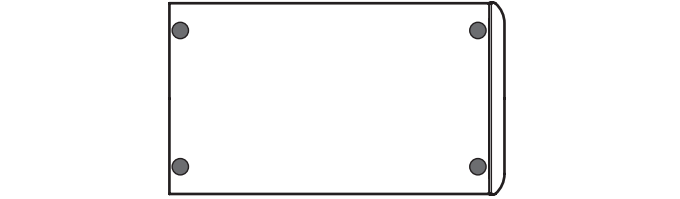
ご使用の前に下記の付属品がそろっていることをご確認ください。

スピーカーケーブル..4
すべり止め（1 シート 8 枚）..............................1
取扱説明書（本書）...1
保証書

取付上のご注意

本機は簡易防磁設計されていますので TV サイドで使用することができますが、TV の種類や設置の仕方によって画面に色ムラを生じる場合があります。その場合は一度 TV の電源を切り、15 ～ 30 分後に再び電源を入れてください。TV の自己消磁機能により画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合は、スピーカーを TV から若干はなして設置してください。又、近くに磁石や磁性材料が置かれている場合には、本機との相互作用により TV に色ムラを生じる場合がありますのでご注意ください。

すべり止めについて

付属のすべり止め（4 個）を底面に貼ってください。

お手入れ

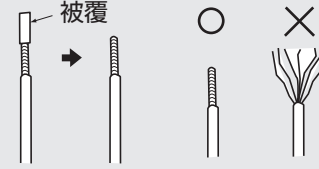
- キャビネットが汚れたときは、やわらかい布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますので、絶対に使用しないでください。
  また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておくと変質したり、塗装がはげたりすることがありますので、ご注意ください。

ご注意

- ツィーターの表面には小さな穴があいています。これはツィーターの音質を向上するためのベンチレーションホールと呼ぶもので、欠陥や故障ではありません。
- ドライブ・ユニットの振動板には、絶対に触れないでください。

接続のしかた

接続の際は、アンプの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- スピーカー背面の入力端子とアンプのスピーカー出力端子を付属のスピーカーケーブルで接続します。
- 左チャンネルのスピーカーはアンプの L 端子へ、右チャンネルのスピーカーはアンプの R 端子へ、極性（+、−）を確認して接続してください。
- アンプにはいろいろなスピーカー出力端子があります。お使いになるアンプの取扱説明書を確認してください。

ご注意

- スピーカーをアンプに接続する場合は、必ずアンプの電源を切ってからおこなってください。
- 極性を間違えると、位相が変わったり低音域のない不自然な再生音になってしまいます。正しく接続してください。

接続前の準備

接続を行なう前に、スピーカーケーブルの加工を行なってください。

1 スピーカーケーブル先端の被覆をはずし、指でしっかりよじる。

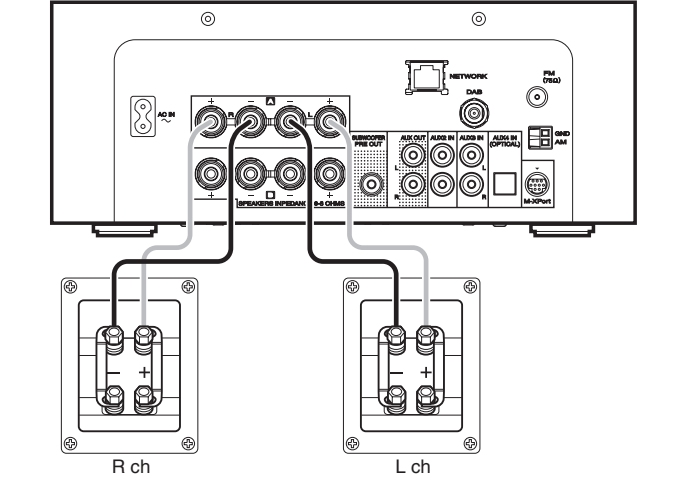
2 端子を左に回してゆるめ、接続コードをスピーカー端子の穴に差し込む。

3 端子を右に回して締め付け、芯線部分が穴からはみ出ていないか確認する。

ご注意

- 接続が終わったら、スピーカーケーブルを軽く引っ張り、確実に接続されているか確認してください。
- スピーカーケーブルの芯線どうしを接触させないでください。アンプの回路がショートし、故障の原因となります。

通常のスピーカー接続

上側と下側のスピーカー端子を連結しているショートバーを取りつけたまま、どちらかのスピーカー端子にスピーカーケーブルを接続してください。

ご注意

接続が終わったら、ショートワイヤーがすべての端子（+ と +、− と −）に確実に接続されているか確認をしてください。

バイワイヤリング接続

低域（ウーファー）と、高域（トゥイーター）を別々に接続して、ケーブルでの低域／高域の相互変調を避けるための接続です。
バイワイヤリング接続を行なう場合、上側と下側のスピーカー端子を連結しているショートバーを取り外し、それぞれのスピーカー端子にスピーカーケーブルを 1 本づつ接続してください。